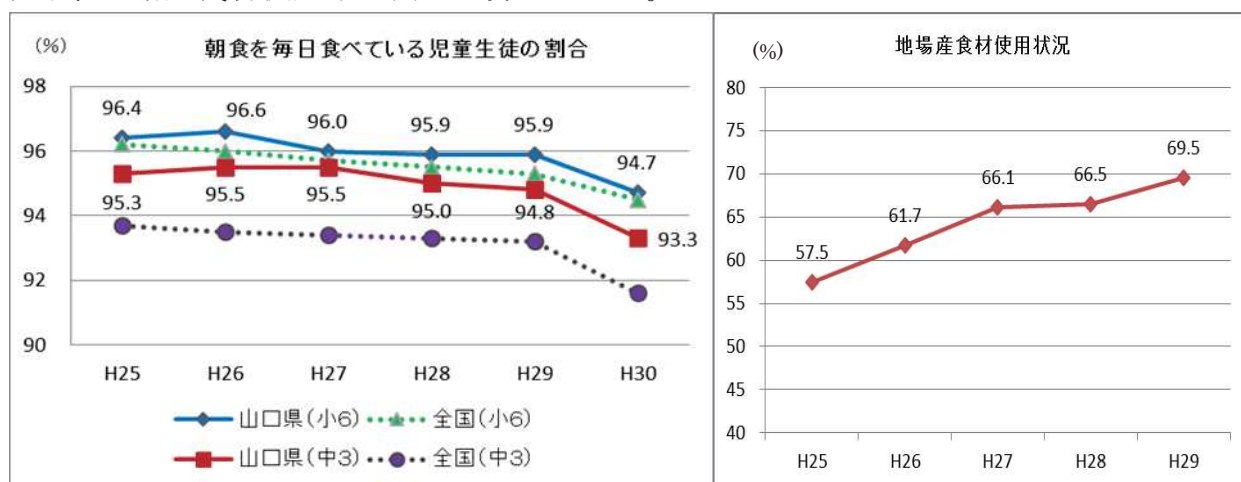


# I 山口県教育委員会の取組

## 1 山口県の現状

本県では、平成29年3月に「第3次やまぐち食育推進計画」を策定した。その中で、「毎日朝食を食べる児童生徒の割合」を100%に近づけることをめざしているが、本県の朝食を毎日食べる習慣が身につけている児童生徒の割合は、全国の傾向と同様に年々減少傾向にある。一方、「学校給食における地場産物を使用する割合」については、目標値を70%に設定し、三方を海に囲まれ自然豊かな地の利を生かしながら、地域の生産者をはじめとする関係各所の連携強化や栄養教諭による献立作成の工夫などに取り組み、地場産食材使用率の向上に努めている。



(全国学力学習・状況調査より) (学校給食における地場産食材使用状況調査より)

## 2 事業の趣旨

食を取り巻く環境が大きく変化する中、顕在化している課題を解決するためには、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校における食育の推進が必要不可欠である。

これまででも栄養教諭を中心に実施してきた多様な取組による成果が見られたものの、子どもの食に関する自己管理能力を育成するためには、社会が総がかりで継続的・横断的に支援していく必要がある。

そのため、本事業では、栄養教諭を中核として全教職員が主体的に関わることができる指導方法や子どもの変容を共有できる評価の方法などを研究し、学校を核として家庭や地域、関係機関・団体と連携を深めて行う取組を通して子どもが日常生活の中で実践できる教材の開発をめざしている。

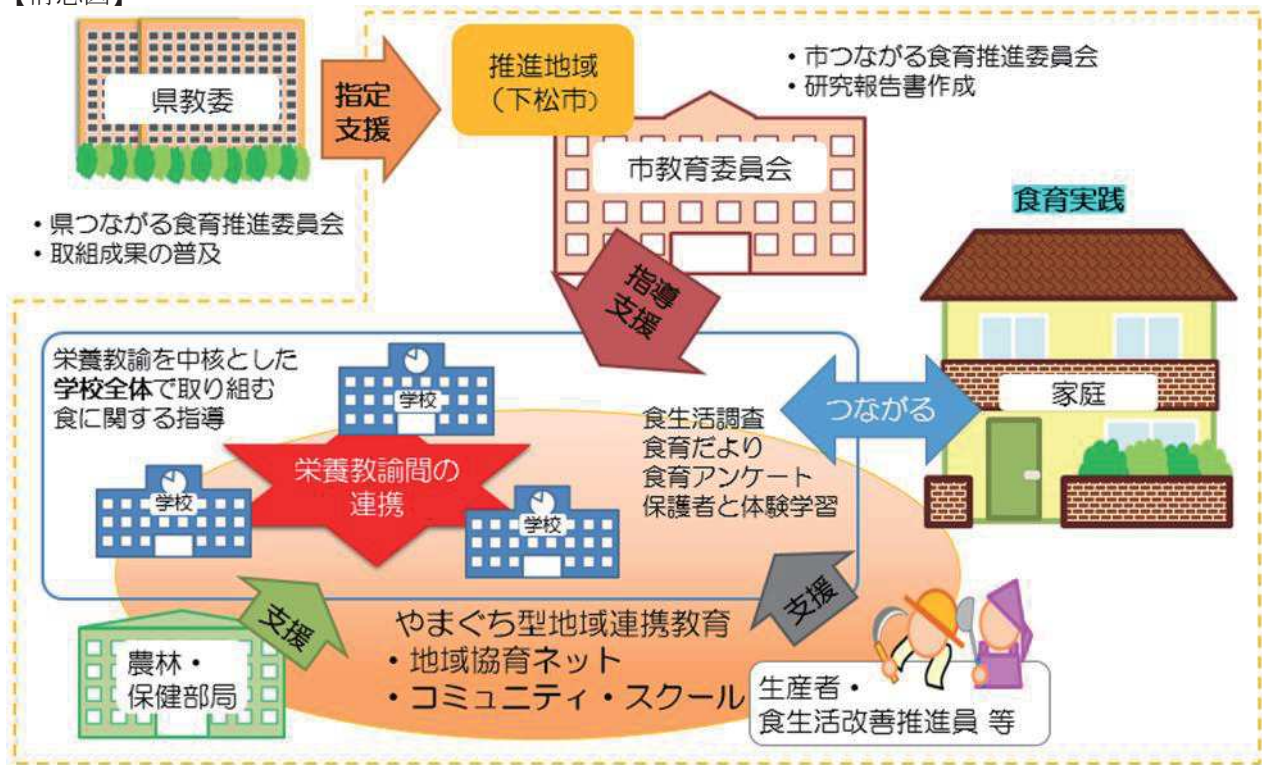
また、この事業における研究成果は、県内に広く普及することで山口県全域での食育推進につなげていく。

## 3 事業の内容

県が食育推進モデル地域に下松市を指定し、市内の3つのモデル校において、家庭や地域、関係機関・団体等と連携し、学校におけるより実践的な食育や保護者を巻き込んだ取組を行う。

また、事業開始時に児童の意識や食習慣等に係る指標を測定し、事業終了時の評価指標の状況と比較することにより、取組の効果や課題を検証する。

【構想図】



(1) 山口県つながる食育推進委員会の設置

① 目的

本委員会は、平成30年度「つながる食育推進事業」の事業計画に基づき、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、山口県の食育推進に寄与することを目的とする。

② 委員構成・名簿

	所 属	役 職	氏 名
委員長	山口大学教育学部	准教授	森 永 八 江
委 員	山口県PTA連合会	副会長	牧中 マリコ
	山口県食生活改善推進協議会	会 長	家根内 清美
	下松市代表校長 (下松市立下松小学校長)	校 長	藤 本 哲 城
	下松市代表栄養教諭 (下松市立下松小学校)	栄養教諭	岡 田 典 子
	下松市代表養護教諭 (下松市立公集小学校)	養護教諭	世 木 志 保
	下松市教育委員会 学校教育課	指導主事	徳 永 淳 一
	下松市教育委員会 事務局	主 査	小 林 桂 子
	山口県健康福祉部健康増進課	主 幹	岡 田 威 一 郎
事務局	山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課	主 査	鍛 治 原 寛
	山口県教育庁学校安全・体育課	課 長	原 井 進
	山口県教育庁学校安全・体育課	教育調整監	山 本 時 弘
	山口県教育庁学校安全・体育課	指導主事	中 嶋 浩 子
	山口県教育庁学校安全・体育課	指導主事	舩 木 隆 司

### ③ 開催時期及び内容

<第1回(6月)>

- ・ 本事業及び本推進委員会設置の趣旨説明
- ・ モデル地域の現状と実践内容について検討
- ・ 食育アンケート内容の検証

<中間報告(10月)>

下松市が進捗状況を各委員に送付し、その後の取組の充実を図るための助言を集めた。

<第2回(1月)>

- ・ モデル地域における実践報告
- ・ 取組の効果の検証
- ・ 今後の山口県の食育推進の方向性について協議



## (2) 食に関する指導研修会

### ① 目的

栄養教諭・学校栄養職員を対象にした食育の研修会を開催し、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図るとともに、各学校の管理職やその他の教諭等にも参加を促し、課題の解決に向けた協議等を通して食育の推進体制の強化・充実を図る。

### ② 日時場所

平成30年8月10日(金)  
午後2時から午後4時半まで  
下松市立豊井小学校

### ③ 参加者

市内の小中学校から校長2名、教頭2名を含む  
計30名が参加

### ④ 内容

<県教育委員会による所管説明>

県が作成した「食に関する指導の手引き」や文部科学省が作成した「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育」をもとにして、指導体制の在り方や評価の共有の仕方について、基本的な考え方を確認した。

<ベテラン栄養教諭による実践事例発表>

下松市立末武中学校の山根早苗栄養教諭が「より良い食習慣の形成をめざして」と題して日々行われている実践事例を発表した。

<各校の課題解決にむけた協議等>

下松市内の小中学校全体で取り組む必要があると考えている課題に、食事マナーの定着があり、それぞれの実践事例を出し合ったり、新たな方策を考えたりしながら、各学校の実情に合わせた取組内容について協議を進めた。

協議を行う中で、めざす児童生徒の姿を共有すると指導がしやすくなるという意見が多く出ていた。

